

項目	内容
名称	わかめペプチド [英]Wakame peptide [学名]-
概要	わかめペプチドは、わかめをプロテアーゼ処理した後、ペプチド分画を抽出、精製したペプチド混合物であり、アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害活性を有するペプチド (フェニルアラニルチロシン、バリルチロシン、イソロイシルチロシンなど) を含むとされている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・乾燥わかめをアルギン酸リアーゼで分解して得られた高タンパク質分画にBacillus stearothermophilus由来のプロテアーゼを作用させ、限外ろ過して調製される (PMID:12464726)。</p>
分析法	<p>・わかめをプロテアーゼ処理して得られたACE阻害活性を有する分画からVal-Tyr、Ile-Tyr、Ala-Trp、Phe-Tyr、Val-Trp、Ile-Trp、Leu-Trpの7種のジペプチドをHPLCにより同定した報告がある (PMID:12358510)。</p>
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器 で	<p>RCT</p> <p>・正常高値血圧の男女60名 (試験群30名、平均52.3±14.1歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、わかめペプチド500 mg/日を12週間</p>

の 評 価	<p>摂取させたところ、収縮期および拡張期血圧の低下が認められた (2004127416)</p> <p>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I度高血圧患者54名 (日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、わかめペプチド300 mg/日 (18名、平均50.4±11.8歳) または500 mg/日 (18名、平均51.8±10.3歳) を8週間摂取させたところ、500 mg摂取群で収縮期血圧の低下が認められたが、拡張期血圧に影響は認められなかった (2016151359) <p>。</p>
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (2004127416) Health Sci. 2003;20(1):103-14. (2016151359) 健康・栄養食品研究. 2002;5(3):67-81. (PMID:12464726) Ann Nutr Metab . 2002;46(6):259-67. (PMID:12358510) J Agric Food Chem. 2002 Oct 9;50(21):6245-52.</p>